

## 4. 建築物耐震改修促進計画改訂のためのアンケート結果

### ■アンケートの概要

- アンケート配布対象者 : 旧耐震基準で建築された木造住宅（昭和56年5月31日以前に着工した住宅）の所有者又は納税義務者
- 調査期間 : 2019（令和元）年 11月10日～11月30日
- 回答率 : 配布数 5,790通 不達回収 141通 回答回収 1,944通
- 到達率 : 97.6% (5,649/5,790)
  - 回答率 : 34.4% (1,944/5,649)
- 設置した設問 : 1 回答者属性(性別、年齢、地区(校区)、住宅状況、世帯構成)
- 2 防災や減災への意識
- 3 耐震診断や耐震改修の実施状況
- 4 自由意見

## アンケート調査ご協力をお願い

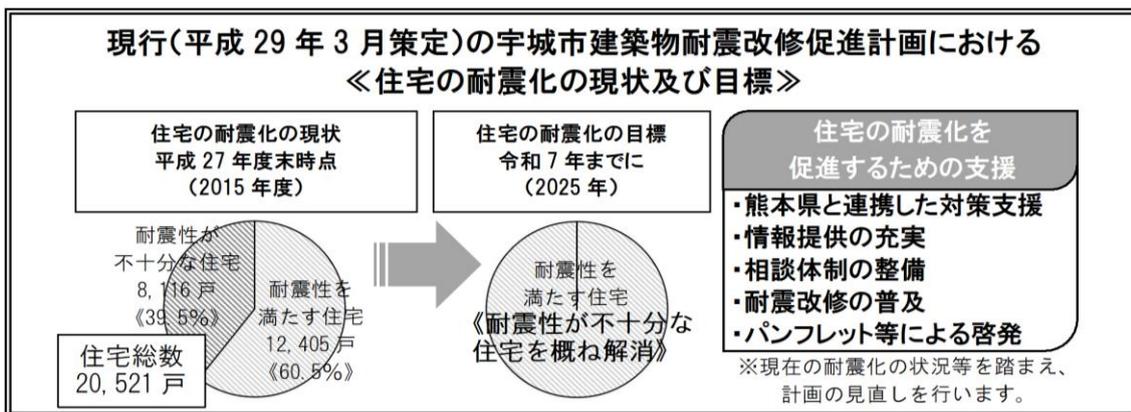
### 宇城市建築物耐震改修促進計画改訂のため、 あなたのご意見をお聞かせください。

市民の皆さまには、平素から市政に対し、ご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

平成 28 年 4 月に熊本県を中心に甚大な被害をもたらした「熊本地震」、平成 30 年 9 月に発生した「北海道胆振東部地震」などの影響も受け、今後も大きな地震が憂慮されており、耐震化の重要性及び緊急性がさらに高まっています。

住宅の耐震性が不足すると、大地震時に倒壊した住宅が、人命に危害を及ぼすことや、避難路を塞いで避難者の避難を困難にする恐れがあります。住宅の耐震化の促進は、所有者の生命・財産の保護に加え、地域の防災力を高めるため、大変重要な施策です。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



#### 《ご記入にあたっての注意事項》

○調査票は、旧耐震基準で建築された木造住宅(昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工した住宅)の所有者又は納税義務者を対象にお配りしています。

※複数所有される方は宇城市内に所在する住宅の中から居住している又は、主に維持管理している住宅についてお答えください。

○ご記入のアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、令和元年 11 月 30 日(土)までに、ポストに投函してください。

【お問い合わせ先】 宇城市 土木部 都市整備課 都市計画係

TEL : 0964-32-1694

## 1. あなたご自身と所有建築物に関しておたずねします。

問1 あなたの性別について、1つ選んでください。

1. 男性                      2. 女性

問2 あなたの年齢について、1つ選んでください。

1. 49歳以下    2. 50～59歳    3. 60～64歳    4. 65～69歳    5. 70～74歳    6. 75歳以上

問3 あなたが所有する住宅はどこにありますか。1つ選んでください。

- 【旧三角町】 1. 三角校区    2. 青海校区  
【旧不知火町】 3. 松合校区    4. 不知火校区  
【旧松橋町】 5. 松橋校区    6. 当尾校区    7. 豊川校区    8. 豊福校区  
【旧小川町】 9. 河江校区    10. 小川校区    11. 海東校区    12. 小野部田校区  
【旧豊野町】 13. 豊野校区

問4 あなたが所有する住宅の状況について、1つ選んでください。

1. 居住している    2. 借家にしていて借家人が居住している    3. 空き家状態になっている

問5 問4で「1.居住している」と回答した方に伺います。  
あなたの世帯の構成について、1つ選んでください。

1. 単身(65歳以上)    2. 単身(65歳未満)    3. 高齢夫婦(夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみ世帯)  
4. 夫婦(3.高齢夫婦に当てはまらない夫婦のみ世帯)  
5. 二世帯(親または子と同居)    6. 三世帯以上(親または子、孫と同居)

## 2. 防災や減災への意識に関しておたずねします。

問6 熊本地震(平成28年4月)の被害状況について、1つ選んでください。

1. 被害を受けた                      2. 被害を受けていない

問7 問6で「1.被害を受けた」と回答した方に伺います。  
被害の程度について、1つ選んでください。

1. 全壊    2. 大規模半壊    3. 半壊    4. 一部損壊    5. その他軽度な被害

問8 近年の地震を受けて、地震に対する意識は変わりましたか。1つ選んでください。

1. 地震に対する意識が向上した    2. 以前と変わらない

問9 問8で「1.地震に対する意識が向上した」と回答した方に伺います。  
ご自身やご家族で実施した地震対策について、該当するものすべてを選んでください。

1. 所有住宅の耐震診断の実施                      2. 所有住宅の耐震補強の実施                      3. 家具の転倒防止の実施  
4. 防災・避難グッズの準備                      5. 食料の備蓄                      6. 緊急時の連絡方法の決定  
7. 勤務先や学校からの帰路の確認                      8. 今のところ何も実施していない



**問15** 市民の皆様が安心して、耐震診断や耐震改修を実施するためには、何が必要と思いますか。  
該当するものすべてを選んでください。(10.その他に○をした場合、[ ]内に具体的にご記入ください)

1. 耐震診断・耐震改修のわかりやすいパンフレットの配布、広報やホームページでの掲載
2. 市民向けセミナーや講習会の開催
3. 耐震診断・耐震改修の市民相談窓口の設置
4. 耐震診断・耐震改修への行政からの支援(補助や税制上の優遇など)
5. 高齢者世帯への支援や優遇
6. 第三者による改修工事費や工事内容の審査機関
7. 信頼できる耐震改修の工法や耐震シェルター等の紹介
8. 信頼できる耐震診断技術者の育成や業者情報の提供
9. 信頼できる改修業者の育成や業者情報の提供
10. その他 [ ]

**問16** 宇城市および熊本県では、耐震診断や耐震改修に関わる補助制度を設けています。  
これらの制度の利用について、1つ選んでください。  
(補助制度については、別紙パンフレットをご参照下さい。)

1. 制度を利用したことがある
2. 制度の内容を知っている、いずれ利用したいと考えている
3. 制度の内容を知っているが、利用は考えていない
4. 制度があることは聞いたことがあるが内容は知らない
5. 制度があることを知らなかった

**問17** 最後に、あなたが住宅の耐震化についてお考えのことや、安心して住むことができる良好な住環境づくりなどについて、ご意見等ありましたらご記入ください。

(自由記入欄)

以上でアンケートは終了です。

**ご回答いただいたアンケート用紙は記入漏れがないかご確認の上、お手数ですが  
令和元年 11 月 30 日(土)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。**

お忙しいところ最後までご協力いただき、ありがとうございました。

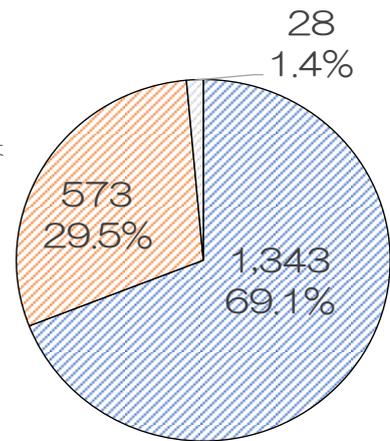
## ■アンケート結果整理

### 問1. 性別《回答者属性》

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,944	100.0
男性	1,343	69.1
女性	573	29.5
無回答+無効回答	28	1.4

※うち無効回答 (複数回答) 1件

- 男性
- 女性
- 無回答+無効回答

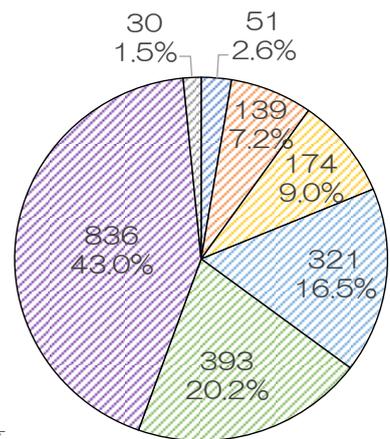


### 問2. 年齢《回答者属性》

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,944	100.0
49歳以下	51	2.6
50~59歳	139	7.2
60~64歳	174	9.0
65~69歳	321	16.5
70~74歳	393	20.2
75歳以上	836	43.0
無回答+無効回答	30	1.5

※うち無効回答 (複数回答) 2件

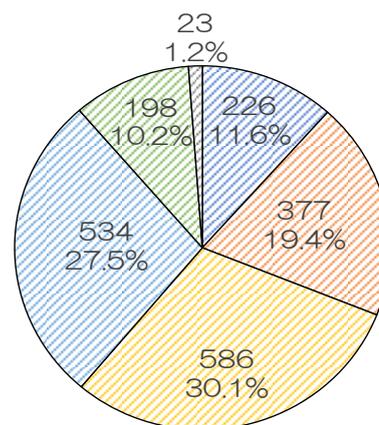
- 49歳以下
- 50~59歳
- 60~64歳
- 65~69歳
- 70~74歳
- 75歳以上
- 無回答+無効回答



### 問3. 居住地《回答者属性》

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,944	100.0
【旧三角町】	226	11.6
三角校区	160	8.2
青海校区	62	3.2
【旧不知火町】	377	19.4
松合校区	107	5.5
不知火校区	269	13.8
【旧松橋町】	586	30.1
松橋校区	174	9.0
当尾校区	165	8.5
豊川校区	78	4.0
豊福校区	168	8.6
【旧小川町】	534	27.5
河江校区	190	9.8
小川校区	152	7.8
海東校区	111	5.7
小野部田校区	78	4.0
【旧豊野町】	198	10.2
豊野校区	198	10.2
無回答+無効回答	23	1.2

- 【旧三角町】
- 【旧不知火町】
- 【旧松橋町】
- 【旧小川町】
- 【旧豊野町】
- 無回答+無効回答



※うち無効回答（複数回答）4件

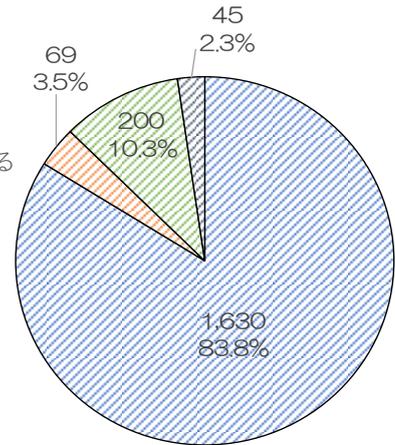
※旧町での回答（校区未回答）を含みます。

#### 問4. 住宅状況《回答者属性》

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,944	100.0
居住している	1,630	83.8
借家にしていて 借家人が居住している	69	3.5
空き家状態になっている	200	10.3
無回答+無効回答	45	2.3

※うち無効回答 (複数回答) 10件

- 居住している
- 借家にしていて  
借家人が居住している
- 空き家状態に  
なっている
- 無回答+無効回答



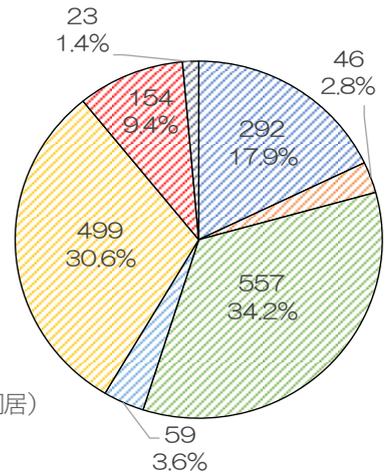
#### 問5. 世帯構成《回答者属性》

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,630	100.0
単身 (65歳以上)	292	17.9
単身 (65歳未満)	46	2.8
高齢夫婦	557	34.2
夫婦	59	3.6
二世帯 (親または子と同居)	499	30.6
三世帯以上 (親または子、孫と同居)	154	9.4
無回答+無効回答	23	1.4

※うち無効回答 (複数回答) 4件

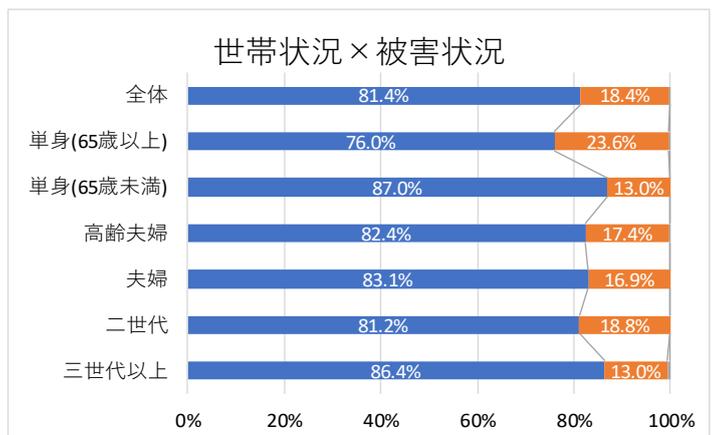
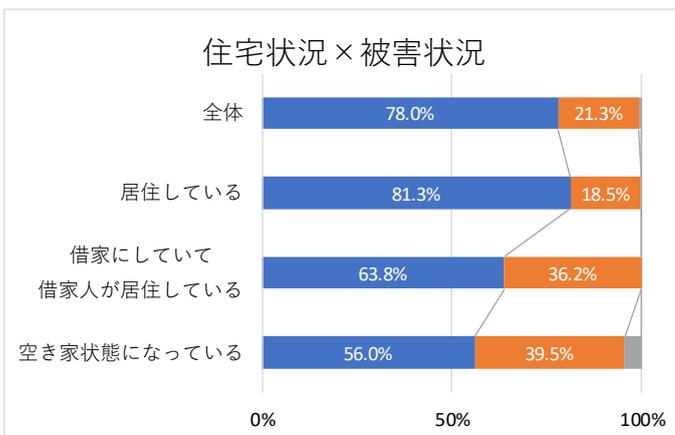
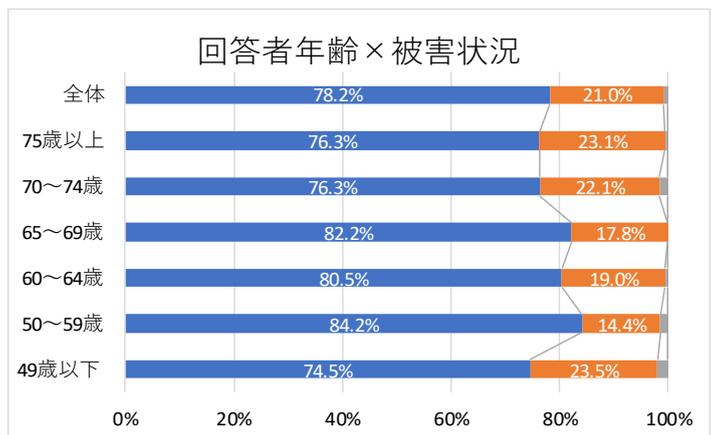
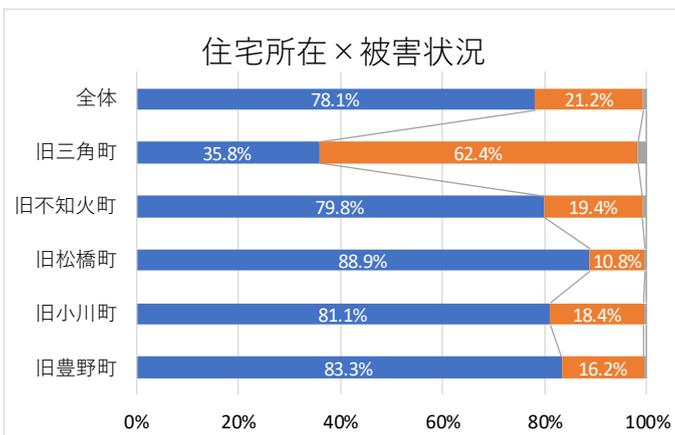
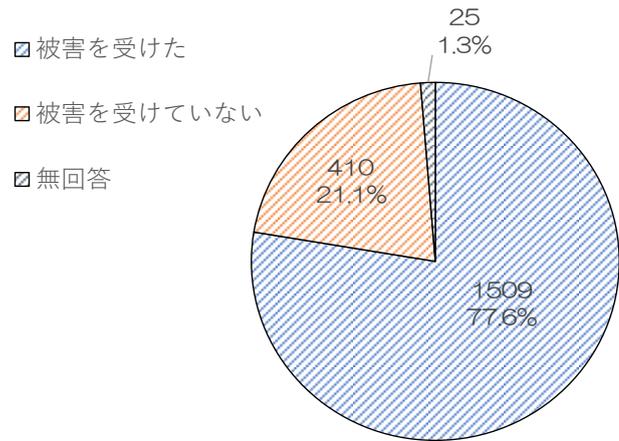
※問4で『居住している』と回答した1,630人の回答

- 単身 (65歳以上)
- 単身 (65歳未満)
- 高齢夫婦
- 夫婦
- 二世帯  
(親または子と同居)
- 三世帯以上  
(親または子、孫と同居)
- 無回答+無効回答



## 問6. 被害状況

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,944	100.0
被害を受けた	1,509	77.6
被害を受けていない	410	21.1
無回答	25	1.3



被害を受けた     
  被害を受けていない     
  無回答

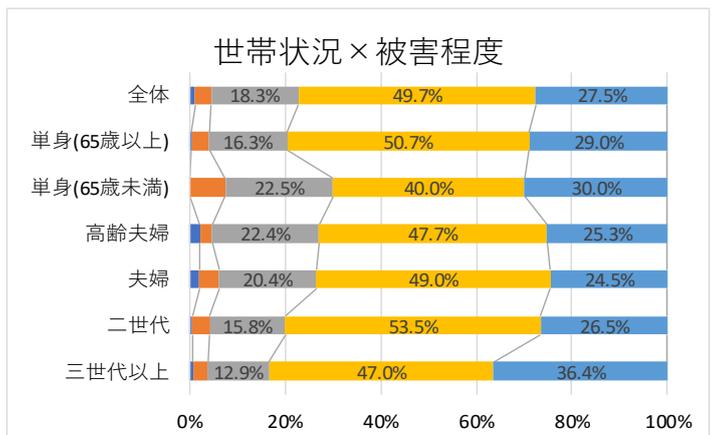
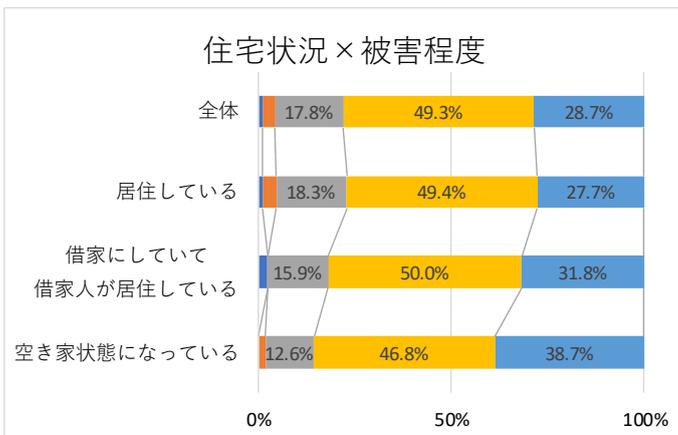
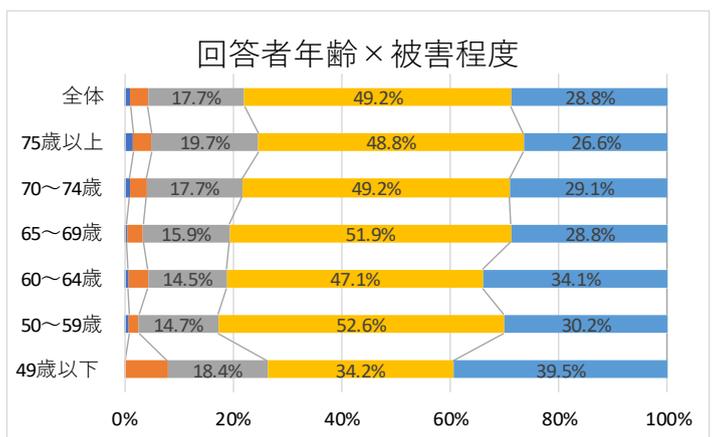
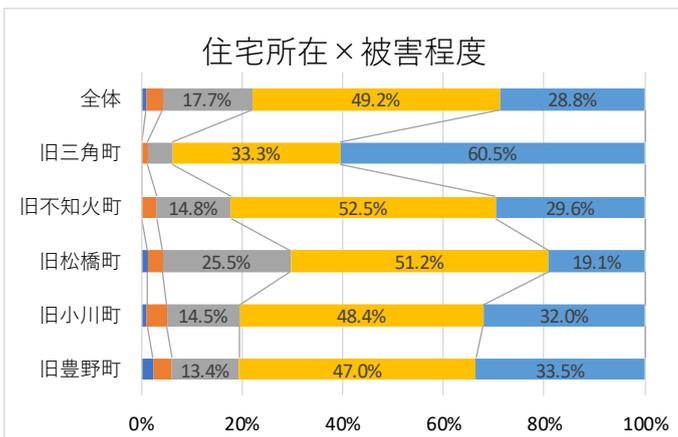
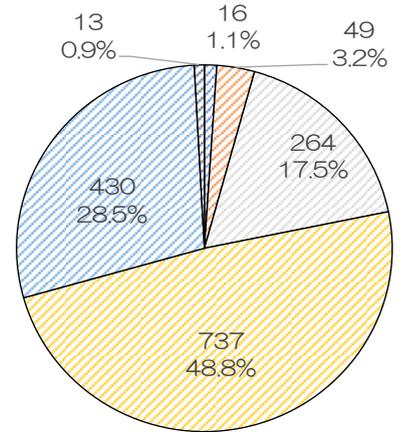
## 問7. 被害程度

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,509	100.0
全壊	16	1.1
大規模半壊	49	3.2
半壊	264	17.5
一部損壊	737	48.8
その他軽度な被害	430	28.5
無回答+無効回答	13	0.9

※うち無効回答 (複数回答) 5件

※問6で『被害を受けた』と回答した1,509人の回答

- 全壊
- 大規模半壊
- 半壊
- 一部損壊
- その他軽度な被害
- 無回答+無効回答



- 全壊
- 大規模半壊
- 半壊
- 一部損壊
- その他軽度な被害

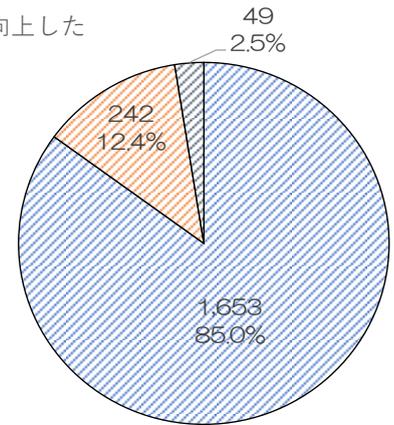
## 問8. 意識変化

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,944	100.0
地震に対する意識が向上した	1,653	85.0
以前と変わらない	242	12.4
無回答	49	2.5

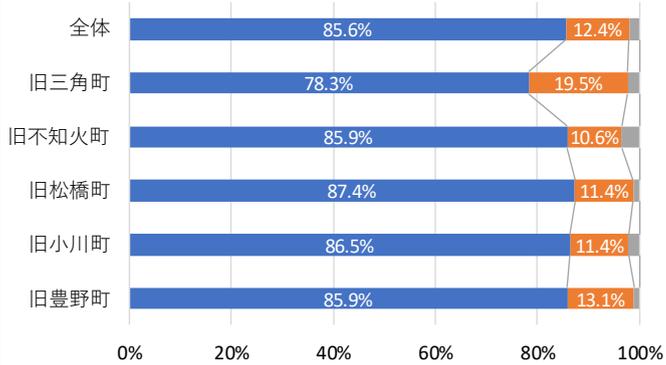
■ 地震に対する意識が向上した

■ 以前と変わらない

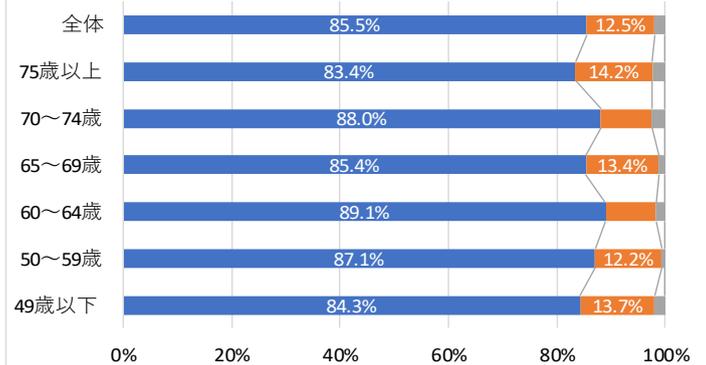
■ 無回答



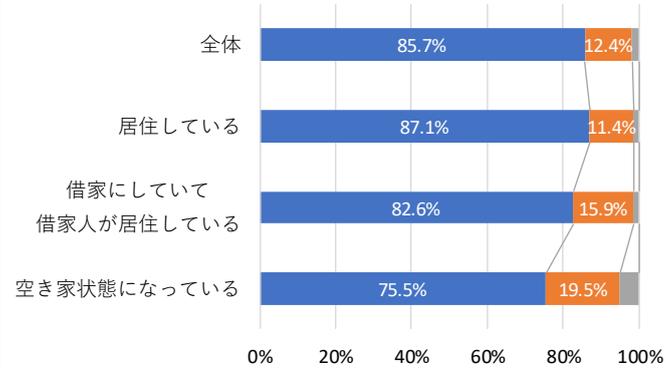
### 住宅所在 × 意識変化



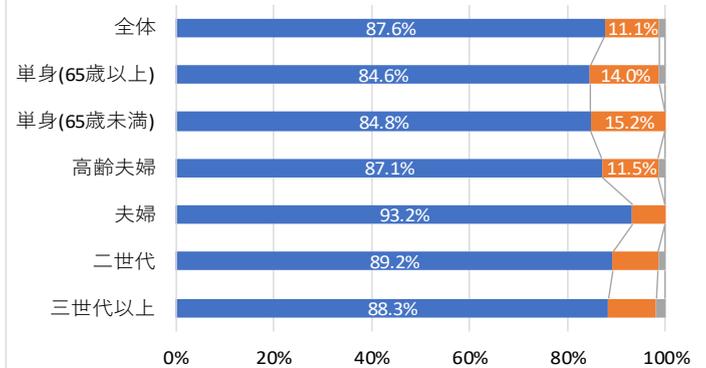
### 回答者年齢 × 意識変化



### 住宅状況 × 意識変化



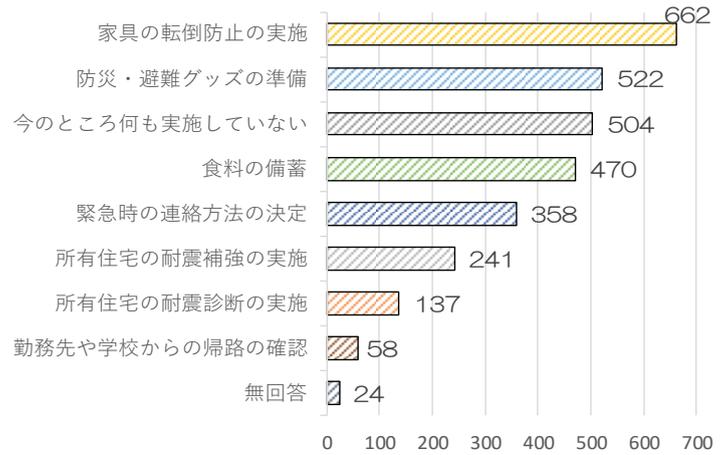
### 世帯状況 × 意識変化



■ 地震に対する意識が向上した ■ 以前と変わらない ■ 無回答

## 問9. 地震対策

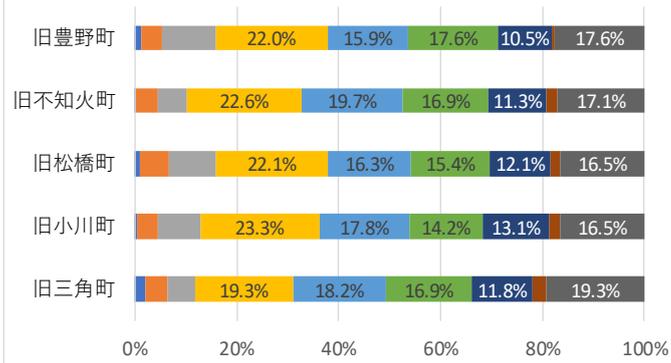
項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,653	180.0
家具の転倒防止の実施	662	40.0
防災・避難グッズの準備	522	31.6
今のところ何も実施していない	504	30.5
食料の備蓄	470	28.4
緊急時の連絡方法の決定	358	21.7
所有住宅の耐震補強の実施	241	14.6
所有住宅の耐震診断の実施	137	8.3
勤務先や学校からの帰路の確認	58	3.5
無回答	24	1.5



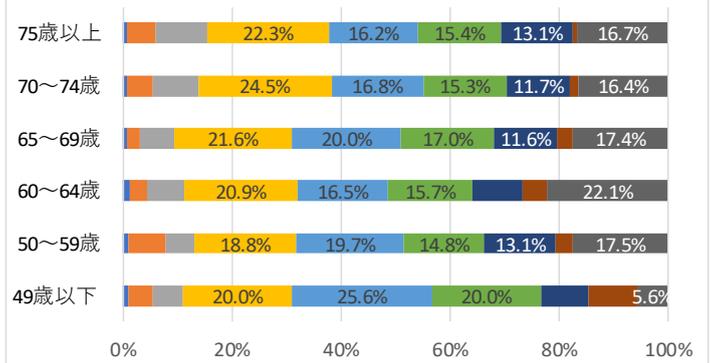
※問8で『地震に対する意識が向上した』と回答した1,653人の回答

※複数回答のため、1,653人の回答で2,952件の回答

### 住宅所在 × 地震対策



### 回答者年齢 × 地震対策

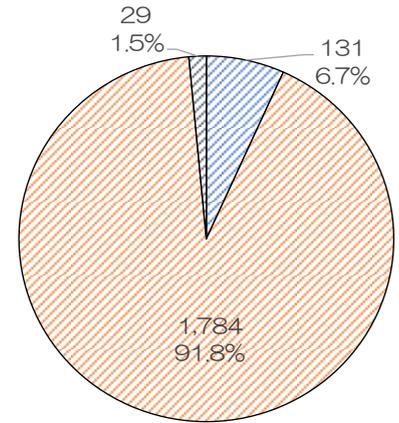


- 無回答
- 所有住宅の耐震診断の実施
- 所有住宅の耐震補強の実施
- 家具の転倒防止の実施
- 防災・避難グッズの準備
- 食料の備蓄
- 緊急時の連絡方法の決定
- 勤務先や学校からの帰路の確認
- 今のところ何も実施していない

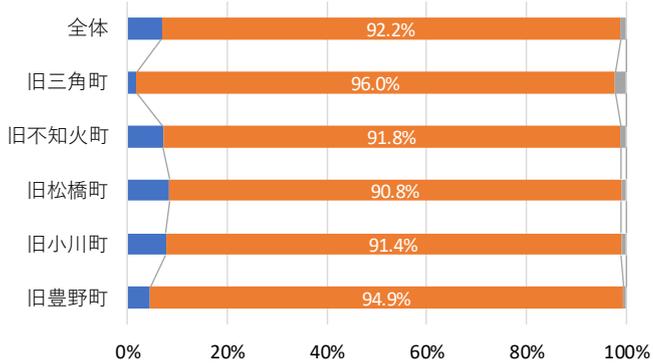
## 問10. 耐震診断の実施

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,944	100.0
実施した	131	6.7
実施していない	1,784	91.8
無回答	29	1.5

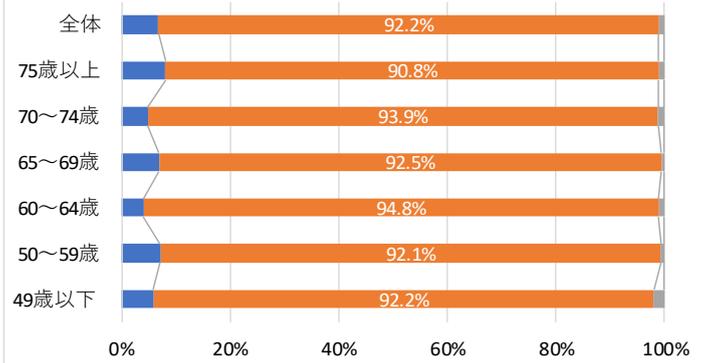
- 実施した
- 実施していない
- 無回答



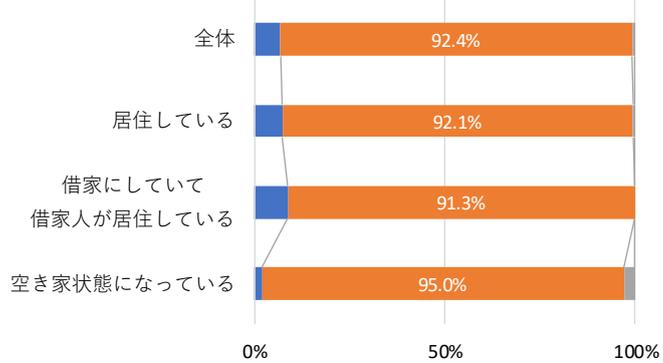
### 住宅所在 × 耐震診断の実施



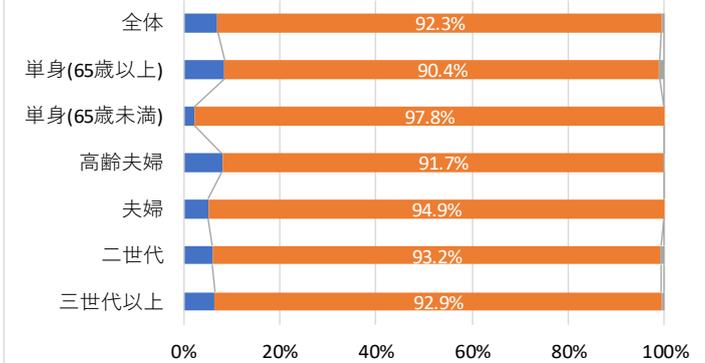
### 回答者年齢 × 耐震診断の実施



### 住宅状況 × 耐震診断の実施



### 世帯状況 × 耐震診断の実施



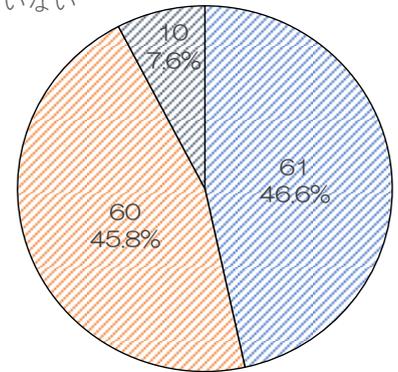
- 実施した
- 実施していない
- 無回答

## 問11①. 耐震診断の結果

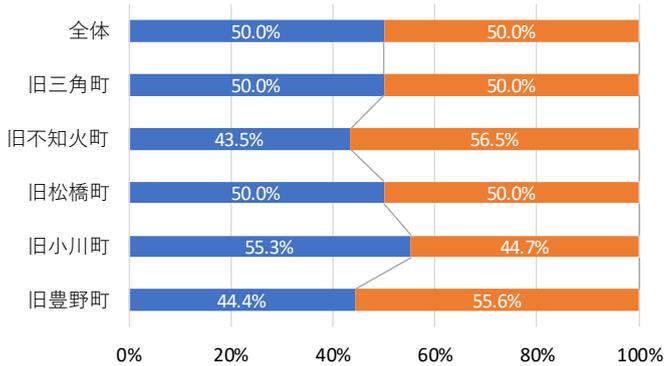
項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	131	100.0
耐震性が確認された	61	46.6
耐震性が確保されていない	60	45.8
無回答	10	7.6

※問10で『実施した』と回答した131人の回答

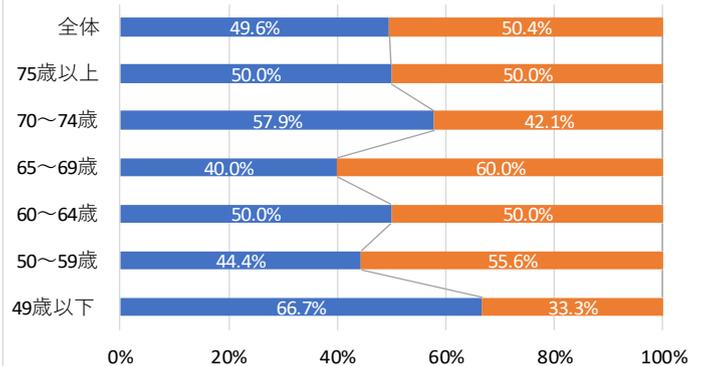
- 耐震性が確認された
- 耐震性が確保されていない
- 無回答



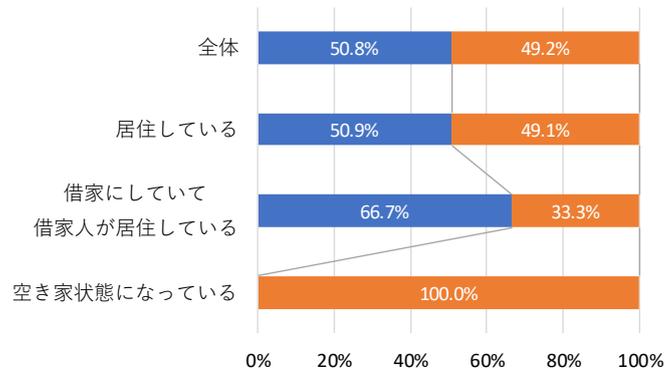
### 住宅所在 × 耐震診断の結果



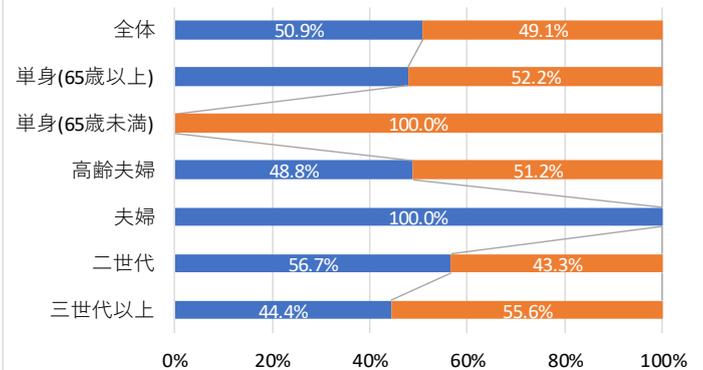
### 回答者年齢 × 耐震診断の結果



### 住宅状況 × 耐震診断の結果



### 世帯状況 × 耐震診断の結果



- 耐震性が確認された
- 耐震性が確保されていない

## 問11②. 耐震診断きっかけ

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	131	100.0
市の広報誌	32	24.4
市のホームページ	0	0.0
市役所の窓口	8	6.1
市からの案内文書	5	3.8
家族や知人のすすめ	27	20.6
その他	44	33.6
無回答+無効回答	15	11.5

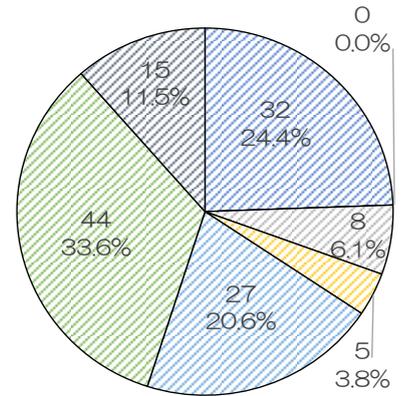
※うち無効回答（複数回答）6件

※問10で『実施した』と回答した131人の回答

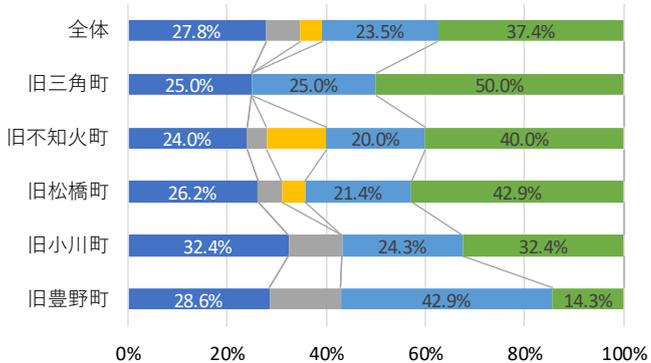
### ●その他の回答 ※質問意図に概ね適した回答のみを抜粋

- ・ 県等からの広報・テレビ・新聞
- ・ 市のHP
- ・ 業者から提案された
- ・ 建設会社のすすめ
- ・ 業者に見てもらった結果
- ・ 兄弟が建築士
- ・ 家族が1級建築士
- ・ 農協
- ・ 熊本地震で被災後、修繕する際に実施した。
- ・ 中古住宅の購入（震災後）
- ・ 市から見にも来てもらえなかった。
- ・ 火災保険会社
- ・ 5年前程、自主的に
- ・ 地震による被害
- ・ 地震で一部損壊だったから
- ・ 建物に異常があれば大変だから。
- ・ 新築時から耐震施行をしている。確認をする。
- ・ リフォームに当って
- ・ リフォーム済みの家（今の家）を購入することになったので確認でやってもらった。
- ・ 阪神大震災の被害を知り、平成7年に耐震補強工事済みで今回の熊本地震で役立ちました。
- ・ 一般財団法人熊本県建築住宅センター
- ・ 大工さんに見てもらった 全壊した家はリフォーム 一部損壊の現在住んでいる家
- ・ 自分で耐震が必要と思った。
- ・ 中古住宅購入のため
- ・ 瓦から→和型陶器へ
- ・ 新築時の規準合格

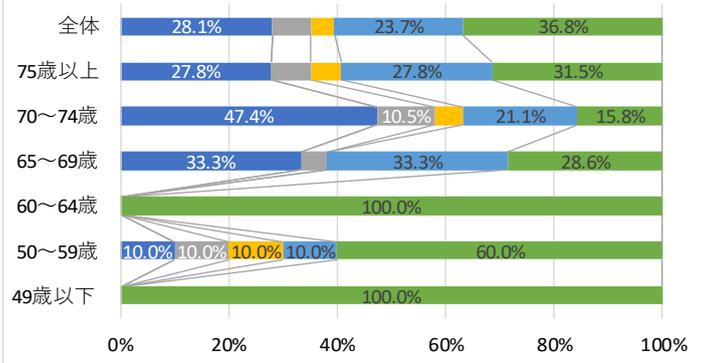
- 市の広報誌
- 市のホームページ
- 市役所の窓口
- 市からの案内文書
- 家族や知人のすすめ
- その他
- 無回答+無効回答



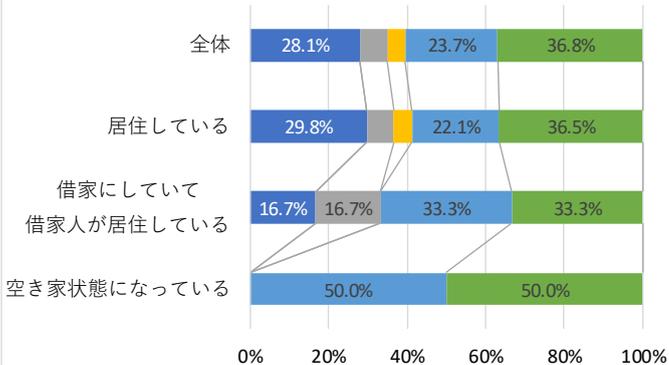
### 住宅所在 × 耐震診断のきっかけ



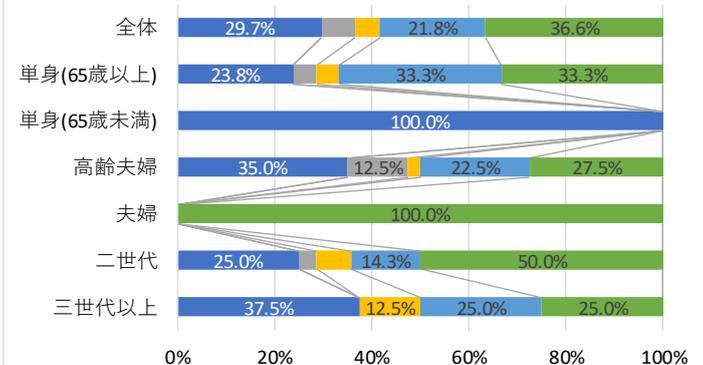
### 回答者年齢 × 耐震診断のきっかけ



### 住宅状況 × 耐震診断のきっかけ



### 世帯状況 × 耐震診断のきっかけ



■ 市の広報誌 ■ 市のホームページ ■ 市役所の窓口 ■ 市からの案内文書 ■ 家族や知人のすすめ ■ その他

## 問12. 耐震改修の実施

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	60	100.0
耐震改修 (又は除却) 済み	9	15.0
耐震改修予定あり	13	21.7
耐震改修予定なし	32	53.3
無回答+無効回答	6	10.0

※うち無効回答 (複数回答) 2件

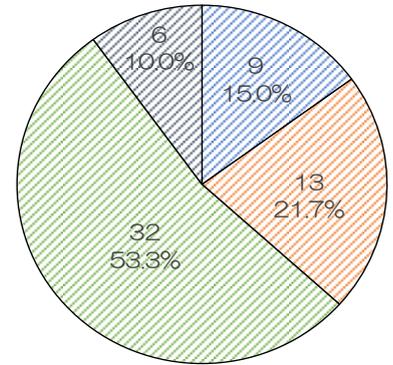
※問11①で『耐震性が確保されていない』と回答した60人の回答

■ 耐震改修 (又は除却) 済み

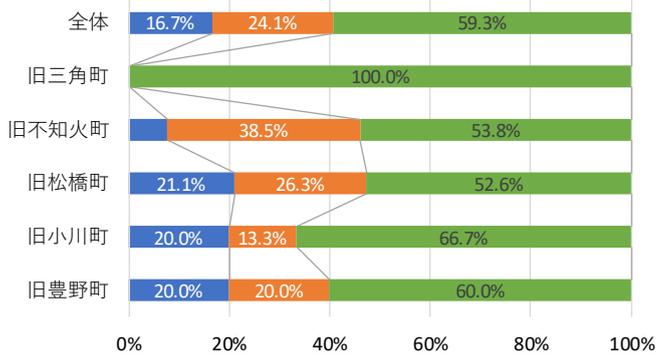
■ 耐震改修予定あり

■ 耐震改修予定なし

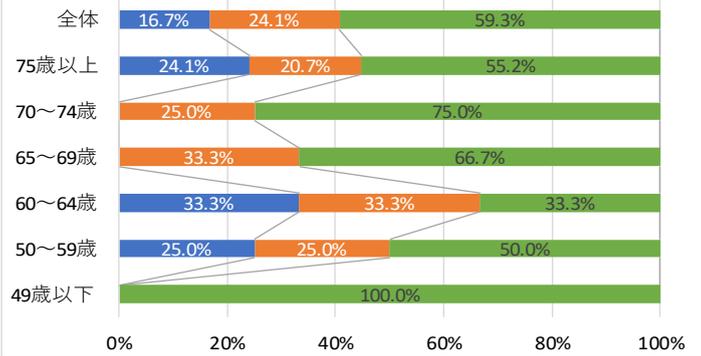
■ 無回答+無効回答



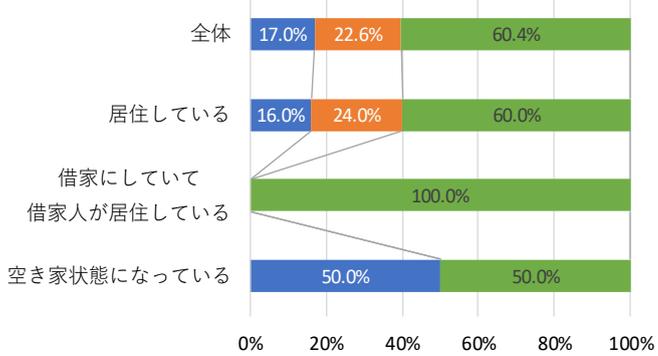
### 住宅所在 × 耐震改修の実施



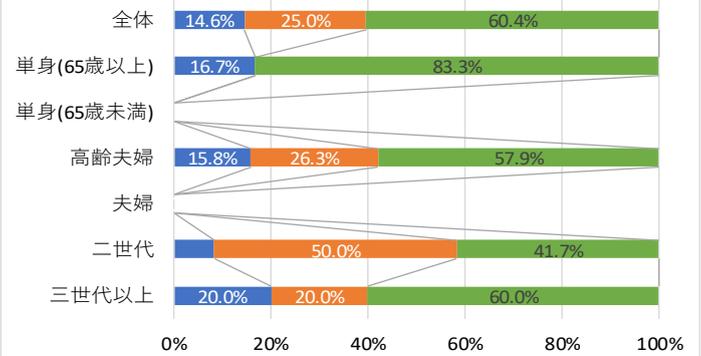
### 回答者年齢 × 耐震改修の実施



### 住宅状況 × 耐震改修の実施



### 世帯状況 × 耐震改修の実施



■ 耐震改修 (又は除却) 済み

■ 耐震改修予定あり

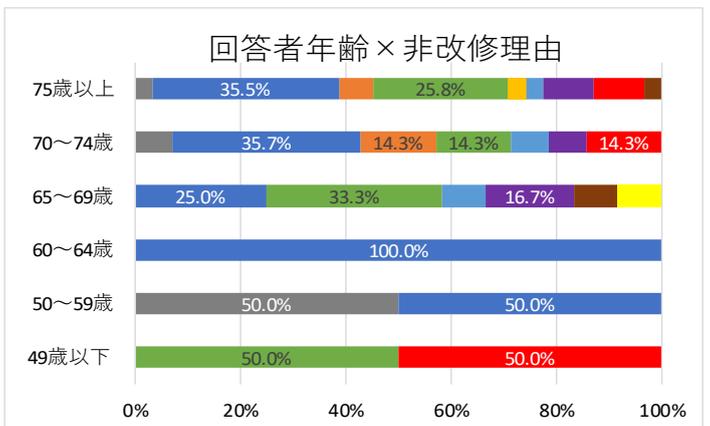
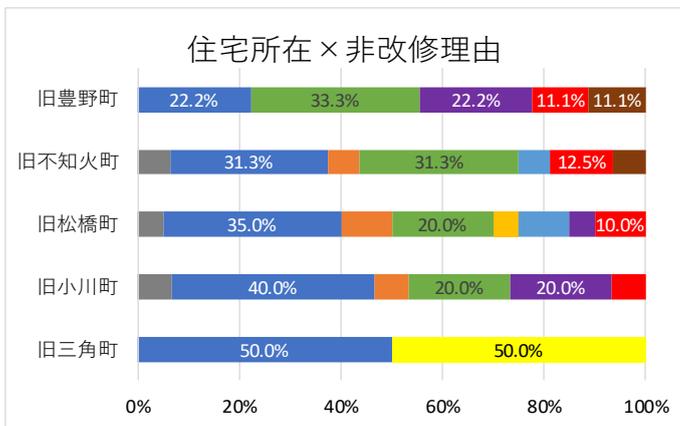
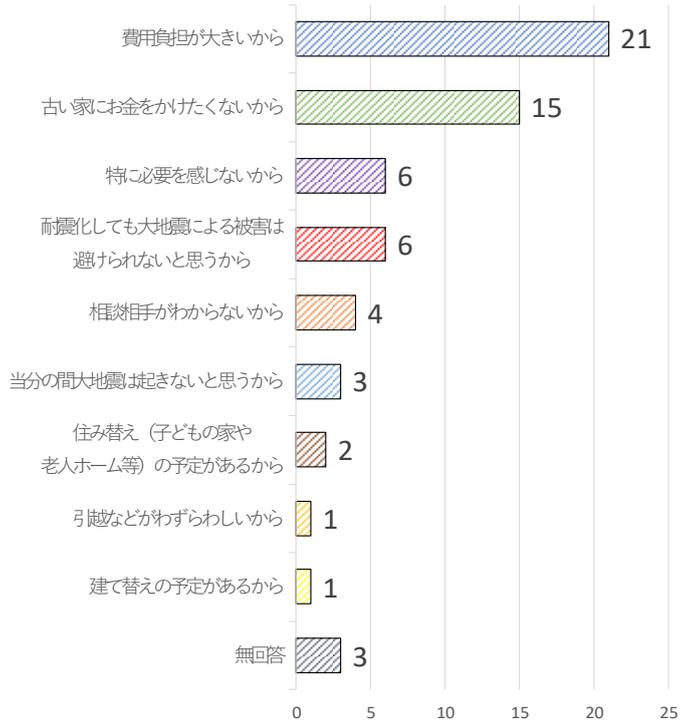
■ 耐震改修予定なし

### 問13. 非改修理由

項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	32	193.8
費用負担が大きいから	21	65.6
古い家にお金をかけたくないから	15	46.9
特に必要を感じないから	6	18.8
耐震化しても大地震による被害は避けられないと思うから	6	18.8
相談相手がわからないから	4	12.5
当分の間大地震は起きないと思うから	3	9.4
住み替え (子どもの家や老人ホーム等) の予定があるから	2	6.3
引越などがわずらわしいから	1	3.1
建て替えの予定があるから	1	3.1
無回答	3	9.4

※問12で『耐震改修予定なし』と回答した32人の回答

※複数回答のため、32人の回答で59件の回答

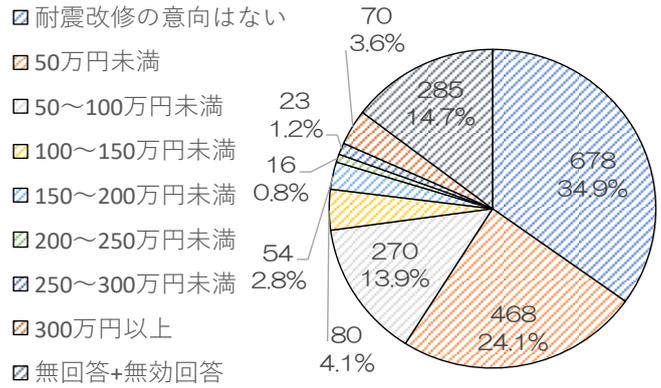


- 無回答
- 費用負担が大きいから
- 相談相手がわからないから
- 古い家にお金をかけたくないから
- 引越などがわずらわしいから
- 当分の間大地震は起きないと思うから
- 特に必要を感じないから
- 耐震化しても大地震による被害は避けられないと思うから
- 住み替え (子どもの家や老人ホーム等) の予定があるから
- 建て替えの予定があるから

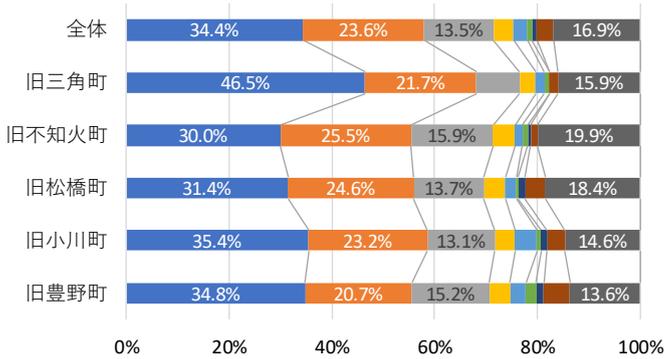
## 問14. 費用負担と意向

項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,944	100.0
耐震改修の意向はない	678	34.9
50万円未満	468	24.1
50～100万円未満	270	13.9
100～150万円未満	80	4.1
150～200万円未満	54	2.8
200～250万円未満	16	0.8
250～300万円未満	23	1.2
300万円以上	70	3.6
無回答+無効回答	285	14.7

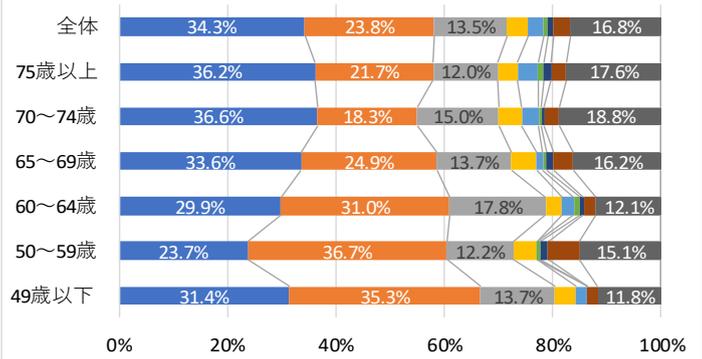
※うち無効回答 (複数回答) 5件



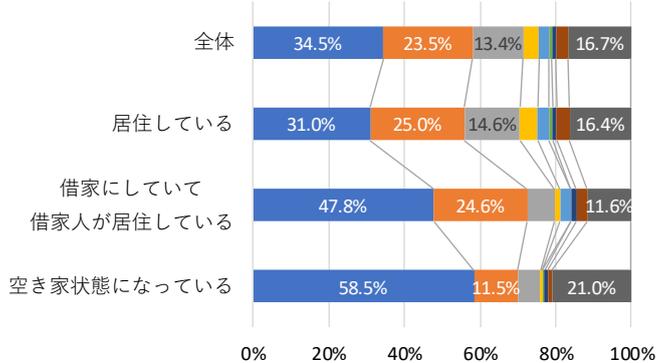
### 住宅所在 × 耐震改修の意向



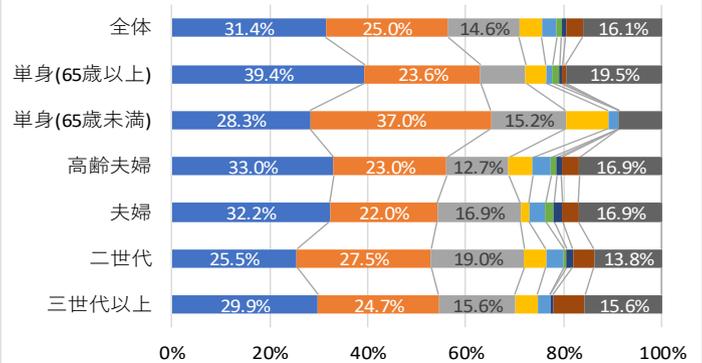
### 回答者年齢 × 耐震改修の意向



### 住宅状況 × 耐震改修の意向



### 世帯状況 × 耐震改修の意向



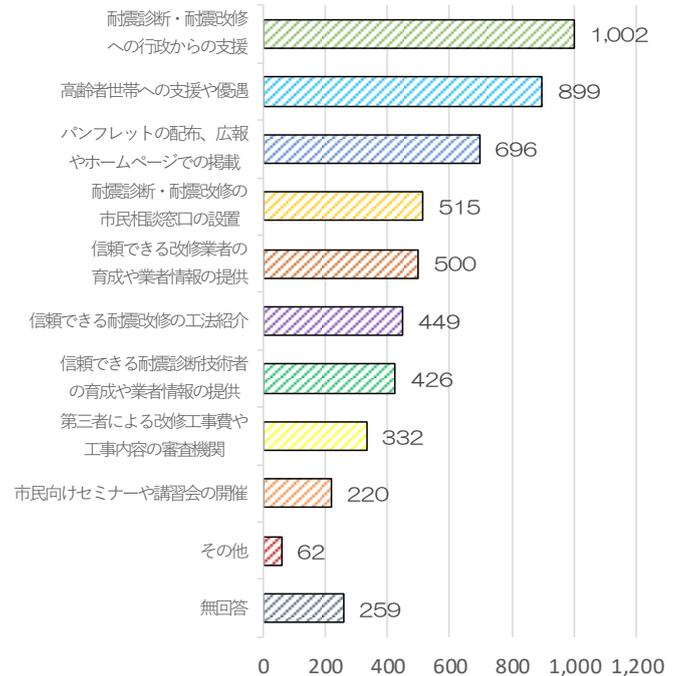
■ 耐震改修の意向はない ■ 50万円未満 ■ 50～100万円未満 ■ 100～150万円未満 ■ 150～200万円未満  
 ■ 200～250万円未満 ■ 250～300万円未満 ■ 300万円以上 ■ 無回答

## 問15. 要望

項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体（回答者数）	1,944	275.7
耐震診断・耐震改修への行政からの支援	1,002	51.5
高齢者世帯への支援や優遇	899	46.2
パンフレットの配布、広報やホームページでの掲載	696	35.8
耐震診断・耐震改修の市民相談窓口の設置	515	26.5
信頼できる改修業者の育成や業者情報の提供	500	25.7
信頼できる耐震改修の工法紹介	449	23.1
信頼できる耐震診断技術者の育成や業者情報の提供	426	21.9
第三者による改修工事費や工事内容の審査機関	332	17.1
市民向けセミナーや講習会の開催	220	11.3
その他	62	3.2
無回答	259	13.3

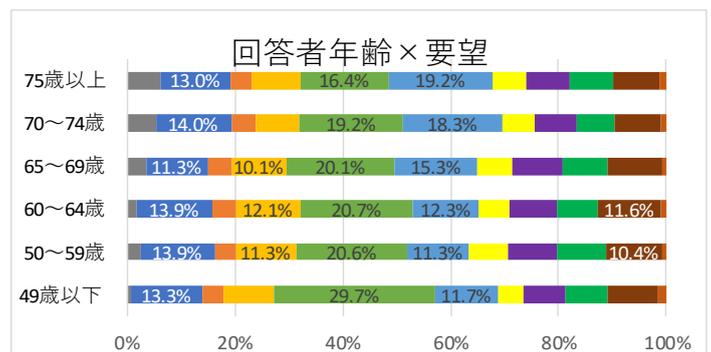
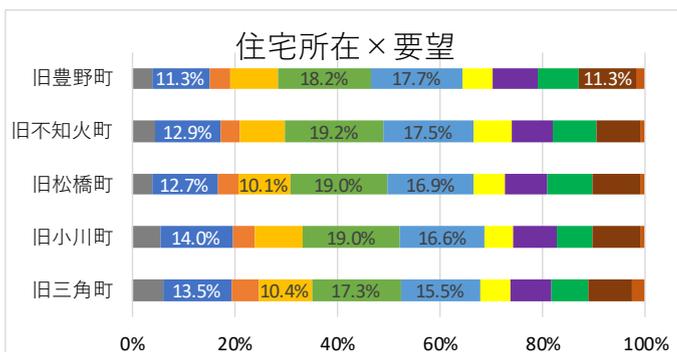
※全体（回答者数）1,944人の回答

※複数回答のため、1,944人の回答で5,101件の回答



### ●その他の回答 ※質問意図に概ね適した回答のみを抜粋

- ・耐震診断を業者にたのんだがどこも対応してくれなかった（2・3社）
- ・住人の地震に対する意識の高揚が必要
- ・問13の7だから地震が来る前に診断や改修してもマイナス
- ・費用負担がなかなかむずかしい
- ・手続きが簡単であってほしい。
- ・耐震シェルター工法構造工事費用の周知
- ・中には信頼できない業者さんもいるようである。
- ・高齢者なので外出がむずかしいので行政からの出張があれば良い。
- ・自己判断
- ・必要に応じ相談し、手助してもらっている地元業者さん
- ・店舗に於いても、支援が必要、再起不能と考えたこともある。
- ・耐震に付いて、5番（高齢者への支援）の優遇を御願いしたい。
- ・無知よりのせられた感じです。信頼した一級建築士にうまく 上記の様な充分な情報があれば、・・・と残念です
- ・最近地震や地学を学んでいます。学びながら考えた事があります。 地質学上、自宅の地盤の特性を正しく知り、危険度を正しく知り得てはじめて地震に備える改修、補修、補強が出来るのではないかと考えてます 正しく知った上で相談をし、支援を求め、工事へとつなげたい思う 日本国、地震はどこにいても起こります。
- ・広島市内在住の為必要はありません
- ・なにもいらない。自助のみ
- ・もう余命が無いので無地震を折って居ます。
- ・診断から改修の間に市の関与がなければ費用が適正か不安がある
- ・公的な無料の耐震診断の実施
- ・公正で差別の無い判定！！
- ・耐震診断を受け改修費用がどの程度か？
- ・一番は安全な地盤かどこかを知りたい。
- ・安くしてくれる業者の提供と紹介
- ・老人2人の生活で、後、住む者がいるかわからないので
- ・地震後、1人1人の生活がどうなっているか調査できていない
- ・耐震診断を10年かけて無料でやる。



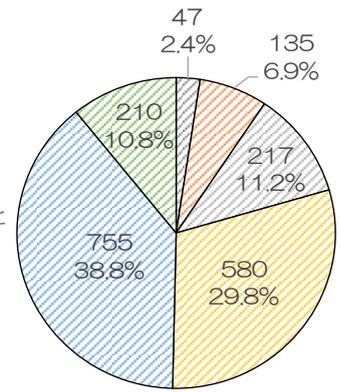
- 無回答
- 耐震診断・耐震改修への行政からの支援
- 信頼できる耐震診断技術者の育成や業者情報の提供
- パンフレットの配布、広報やホームページでの掲載
- 高齢者世帯への支援や優遇
- 信頼できる改修業者の育成や業者情報の提供
- 市民向けセミナーや講習会の開催
- 耐震診断・耐震改修の市民相談窓口の設置
- 第三者による改修工事費や工事内容の審査機関
- 信頼できる耐震改修の工法紹介
- その他

## 問16. 制度利用

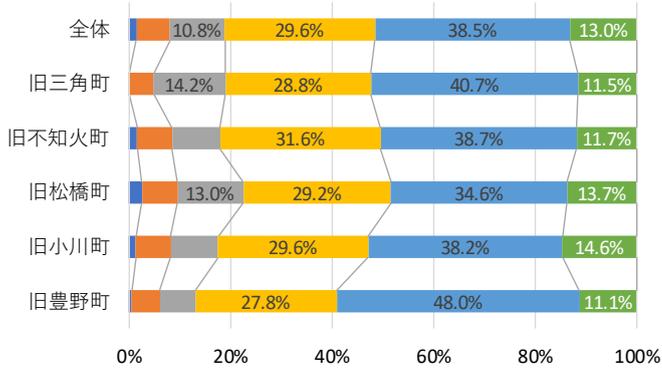
項目名	集計値	構成比 (%)
全体 (回答者数)	1,944	100.0
制度を利用したことがある	47	2.4
制度の内容を知っている、 いずれ利用したいと考えている	135	6.9
制度の内容を知っているが、 利用は考えていない	217	11.2
制度があることは聞いたことが あるが内容は知らない	580	29.8
制度があることを知らなかった	755	38.8
無回答+無効回答	210	10.8

※うち無効回答 (複数回答) 14件

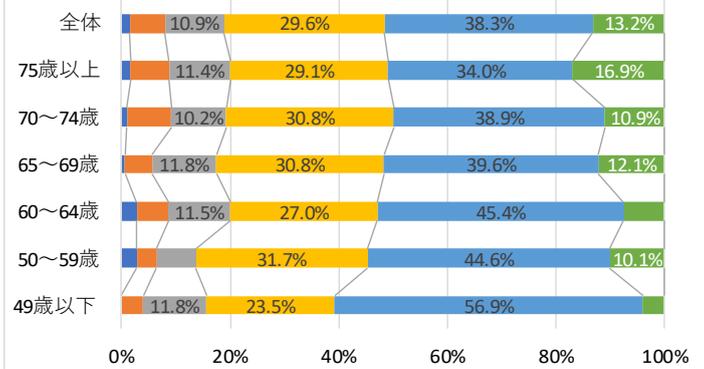
- 制度を利用したことがある
- 制度の内容を知っている、  
いずれ利用したいと考えている
- 制度の内容を知っているが、  
利用は考えていない
- 制度があることは聞いたことが  
あるが内容は知らない
- 制度があることを知らなかった
- 無回答+無効回答



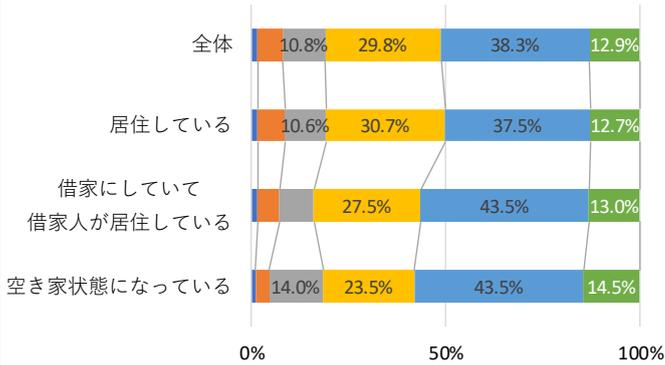
### 住宅所在 × 制度利用



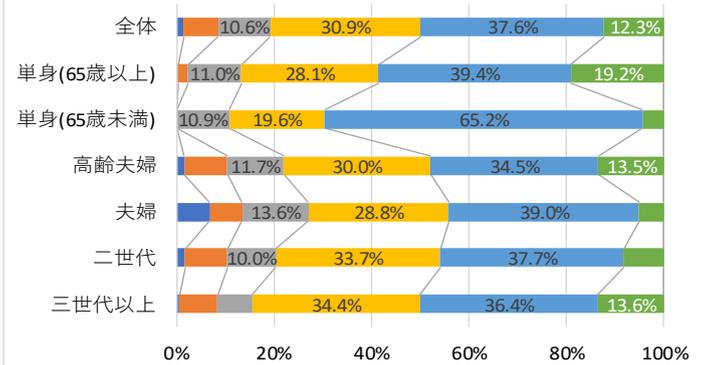
### 回答者年齢 × 制度利用



### 住宅状況 × 制度利用



### 世帯状況 × 制度利用



- 制度を利用したことがある
- 制度の内容を知っている、  
いずれ利用したいと考えている
- 制度の内容を知っているが、  
利用は考えていない
- 制度があることは聞いたことが  
あるが内容は知らない
- 制度があることを知らなかった
- 無回答